

【件 名】	日野橋切廻し道路工事	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都日野市大字日野地内から立川市錦町五丁目地内まで 一般都道八王子国立線（第256号）甲州街道	【受注者名】	岩田地崎建設株式会社東京支店	
【工 期】	令和5年11月13日から令和7年10月28日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 上野 利幸	

【工事概要】

施工延長 道路工事区間564m

河川工事区間 左岸側109.8m 右岸側17.8m

【道路改良】 街築工1式 舗装工1式

【道路構造物】 橋梁下部工1式 橋梁付属物1式

【築堤護岸】 法覆護岸工1式 根固め工1式

【表彰理由】（※発注者側評価）

現道から仮橋への交通切替えには、交通利用者及び周辺住民に通行止めや代替迂回路の案内など周知を丁寧に行い、苦情等もなく交通切替を完了させた。工事のステップにより右岸、左岸共にサイクリングロードや歩行者通路の切り替えを行ったが、照明の設置や交通誘導員の配置など安全対策に努め、無事故で工期内に完了させた。段差防止工の施工に際し既存桁とのクリアランスが狭い中で、既存桁等の破損を防止するため、警戒エリア監視システムを設置することで、安全に配慮し施工した。仕上がりも良好であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

堤防盛土後、護岸ブロックと道路工事が輻輳し、かつ交通利用者の動線を確保しながら取付道路の切廻しの検討、警視庁との信号移設・切替手順の協議、不可視部の中間検査、河川管理者や立川市・日野市との協議等が多数回あり、工程調整が難しい工事であった。

◇ 特に工夫した点

取付道路切替や切替後の工事は、工事規制を行っての施工なので、苦情のないよう事前に周知看板の設置、デジタルサイネージによる案内、工事ビラの配布、ガードマンによる声掛けを徹底した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

交通切替当日は、多数の地元住民の方が見に来られ、楽しみにされていた方が多くいたことに驚きと、切替工事に携わって良かったと実感し、苦労が報われた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業は3K（きつい、汚い、危険）とイメージされがちですが、建物や橋、道路などの形が残り、生活を支えるインフラの整備で社会貢献が出来る業界であることと、最近は働き方改革で給与や休暇等改善されてきており、希望のある業種です。



R7.5.14、切廻し直前の通行止めしている状況、歩道橋上は見物している方たち（日野市側）